症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副反応
	性・ 年齢	使用理由 （合併症）		経過及び処置
1	男 10代	おたふくかぜ の予防（なし）	0.5mL 1日間	急性膵炎，無菌性髄膜炎 接 種 当 日　他院にて本剤接種。 接種20日後　夕方より発熱38-38.5℃，頭痛，嘔吐あり。 接種21日後　他院より当院紹介，入院。 耳下腺腫脹なし，項部硬直（++），Kernig's sign（+），髄液細胞数 488/3。 無菌性髄膜炎の診断で輸液，ベッド上安静。 濃グリセリン・果糖配合剤，ファモチジン，セフォタキシムナトリウムにて治療開始。 発熱，頭痛，嘔吐に続き腹部全体に圧痛を訴えた。 接種23日後　血清アミラーゼ168（膵型127）と高値を認め，急性膵炎の合併が疑われた。 絶飲食とし，ウリナスタチン静注（5 万単位×3/日），腹痛時にブチルスコポラミン臭化物を静注した。 腹部CT，腹部エコー正常範囲内。腹痛は次第に改善したが発熱が続いた。 接種27日後　膵炎食開始。 接種28日後　解熱。 接種33日後　点滴中止。 接種36日後　退院。 ウイルス分離＜日付不明＞ 髄液よりムンプスウイルスが分離され，ワクチン株と一致した。

臨床検査値

臨床検査項目（単位）	接種21日後	接種23日後	接種25日後	接種33日後
アミラーゼ（IU/L）	89	168	155	98
膵アミラーゼ（IU/L）	—	127	80	48

併用薬：なし

注：本症例は平成23年４月より前に報告された，因果関係が否定できない副反応報告である。

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副反応
	性・ 年齢	使用理由 （合併症）		経過及び処置
2	女 10代	おたふくかぜ の予防（なし）	0.5mL 1日間	急性膵炎，無菌性髄膜炎 接 種 当 日　他院Aにて，本剤接種。 接種23日後　発熱，頭痛，腹痛を認め，他院Aにてインフルエンザ検査を実施したが陰性であった。 接種24日後　体温 39℃。頭痛が続き，他院Aで血液検査実施（白血球数12000/μL，CRP 0 mg/dL）。 接種25日後　発熱が続き，頚部痛，項部硬直，頭痛，嘔吐も2回あり，他院Aで髄膜炎を疑われ，当院小児科に紹介入院。 髄液検査で細胞数増多を認め，培養の結果等から無菌性髄膜炎と診断。安静，輸液による保存的治療を開始。頭部CTでは明らかな異常なし。頭痛がひどいため，鎮痛剤，濃グリセリン・果糖配合剤を投与。 接種26日後　頭部MRIでも異常所見なし。 血液検査でリパーゼが上昇。治療は同様に継続。 接種27日後　発熱，頭痛，腹痛が持続。髄液検査の再検では，細胞数がさらに上昇。血液検査でアミラーゼの上昇も判明し，急性膵炎の合併と判断。他院Bに転院。 覚醒時脳波検査で明らかな脳機能低下を疑う所見を認めず，無菌性髄膜炎，急性膵炎と判断して輸液，絶飲食，制酸剤で加療。 接種33日後　他院Bを軽快退院。 接種41日後　回復。 ウイルス分離＜接種25日後＞ 髄液（PCR）：ムンプスウイルス（ワクチン株）を検出

臨床検査値

臨床検査項目（単位）	接種25日後	接種26日後	接種27日後
アミラーゼ（IU/L）	115	—	199
リパーゼ（IU/L）	—	102.5	155.9

併用薬：アセトアミノフェン